

## H.C.R. 2015ご出展企業・団体の皆さまへ 主催者企画への出展製品の展示・貸出に ご協力ください！

H.C.R. 2015においても、ホール内の特設会場などでの来場者への福祉機器の情報提供や、機器に実際に触れて、知っていただくための主催者による企画・コーナーなどを予定しております。

については、これらの企画に対して出展製品の貸出のご協力をいただける企業・団体を、以下の要領で募集いたします。

該当製品を出展される企業・団体の皆さまのご協力を、ぜひよろしくお願いいたします。

### 1. 障害児のための「子ども広場」

障害のある子どもの発育段階において、福祉機器の利用は成長や生活などの面で大きな可能性を拓けるものです。そこで、H.C.R. 2015においても、子どもむけ福祉機器の開発・普及、適切な利用を目的として「子ども広場」を会場内に設置し、こうした機器を集中展示するとともに、情報提供や相談などを行います。

そこで、同広場に展示する子どもむけ福祉機器の貸出のご協力をいただける出展企業・団体を募集いたします。

なお、ご提供いただいた製品については、パネルに協力出展社名、小間番号、製品名を掲載して展示させていただくほか、当日会場内で配付する「特

別企画」パンフレットなどでご紹介をさせていただきます。



#### 1. 貸出対象製品：

H.C.R. 2015出展製品のうち、下記の製品分類に該当する子どもむけ福祉機器・用具

- ①車いす ②バギー・歩行器など ③いす・カーシート
- ④学習機器／コミュニケーション機器 ⑤食器・食器／衣類・靴

#### 2. ご協力の連絡先：

2015年7月30日(木)までに「出展細則」内同封の「協力用紙」をご提出ください。

### 2. 車いす貸出コーナー

H.C.R.には高齢者や障害者が多数来場されており、ホール内を移動する手段として車いすの貸出への要望が年々多くなってきています。そこで、H.C.R. 2015においても、来場者への配慮の一環と

して、車いすの貸出コーナーを設置いたします。

については、貸出させていただく車いすをご提供いただける出展企業・団体を募集いたしますので、ご協力をお願いいたします。

なお、当日は、協力出展社名、小間番号、貸出を行う車いすの製品名、製品PRなどを記載したチラシを作成して同コーナーにて配布するほか、実際に車いすを使用された来場者にアンケートを実施し、その結果を提供いたしますので、今後の製品開発などにお役立ていただければ幸いです。

#### 1. ご協力いただきたい機種：

自走車いす、介助用車いす、電動車いす

#### 2. ご協力の連絡先：

2015年7月31日(金)までに「出展細則」内同封の「協力用紙」をご提出ください。



それぞれの募集要項などの詳細は「出展細則」内に同封させていただいておりますので、ご確認ください。

## H.C.R. 2014国際シンポジウム報告書

### 「ヨーロッパ諸国の認知症政策の現状を 踏まえ、課題に挑む～認知症政策への理 解拡大と日本の支援活動の充実のため に」を発刊

近年、高齢社会対策にかかわる重要施策について国家戦略を策定し、国民的な課題として社会全体で課題を共有しながら取り組みをすすめていく動きが活発になってきています。

とりわけ、認知症については、欧州各国で国家戦略が策定されており、また2013年12月には英国で「G8認知症サミット」が開催されるなど、世界的な共通課題となっています。

わが国においても、H.C.R. 2014が開催された時点で策定されていた2013年から2017年までの「認知症施策5か年計画（オレンジプラン）」について、政府は、2015年1月27日に認知症対策についての関係閣僚会合を開いて「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」に拡充させることを決め、それまでのオレンジプランに変わる新戦略として12の関係府省庁による横断的な対策を実施する準備に入ると、ここ数年、取り組みの加速化が図られてきています。



そこで、H.C.R. 2014国際シンポジウムは、既にサミットなどが開催されている英国から専門の研究者を招いて、EU各国のなかから認知症施策への先進的な取り組み経験を有する国々を選定いただき、それらの国々の特徴、現状や課題などを解説いただくとともに、わが国の認知症ケアの第一線で活躍されている講師とのディスカッションなどをつうじて、日本の取り組みや課題と対比しながら学ぶことにより、わが国の認知症施策と支援活動の充実に資することをめざして開催しました。

#### ○平成26年10月2日

参加者：301名  
会場：東京ビッグサイト会議棟6階  
「605-608」

#### ○シンポジスト：

##### 【ヨーロッパ諸国の状況報告】

George W. Leeson

(ジョージ・W・リーソン)氏  
オックスフォード大学高齢者  
研究所副所長、  
同大学ケロッグカレッジ上級  
研究員、  
コペンハーゲン大学客員講師

##### 【日本の状況報告】

服部 安子 氏

社会福祉法人 浴風会 浴風会ケアスクール校長



#### ○チューター：

近藤 純五郎 氏

一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会  
理事長、弁護士、元厚生労働事務次官



このたび、シンポジウムの内容を分かりやすくまとめ、報告書として刊行しました。以下の要領により販売いたしております。

- ①編著者、発行所：一般財団法人 保健福祉広報協会
- ②企画：A5判：114頁
- ③価格：700円（税込、送料別）
- ④発行：2015年3月

- ※「送料」と、「代金引換」もしくは「代金振込」に関わる手数料は申込者負担です。
- ※詳しくは、本会ホームページ (<http://www.hcr.or.jp>) の「出版物のご案内」をご覧ください。

## H.C.R. 2015 ビジュアルデザインが決まりました

H.C.R. 2015のビジュアルデザインは、石踊達哉氏作の「薄雲」に決定しました。展示会のポスターをはじめ、DMハガキ、福祉機器ガイドブックの表紙などのデザインとして使用させていただく予定です。

